

平成19年4月13日

日本学術振興会  
プロセスシステム工学第143委員会  
委員長 長谷部 伸治

プロセスシステム工学第143委員会  
第162回委員会・平成19年度第1回研究会 開催通知  
(143委員会ホームページ <http://www.pse143.org/>)

1. 日 時：2007年5月11日(金)13:00～12日(土)12:00

2. 場 所：アクトシティ浜松コンgresセンター  
(静岡県浜松市中区板屋町111-1/電話：053-451-1111)  
交通：JR線「浜松駅」下車徒歩5分  
ウェブサイト：<http://www.actcity.jp/>  
宿泊：オークラアクトシティホテル浜松

3. 委員会：(13:00～13:15)

4. 研究会：

テーマ：エンジニア教育と技術伝承

<1日目> 5月11日(金)

13:15-13:45 「大学におけるPSE教育の実施例」  
京都大学 長谷部伸治 委員  
<概要>京都大学におけるPSE教育について紹介する。

13:45-14:05 「大学におけるPSE教育の概要：アンケートのまとめ」  
東京大学 平尾雅彦 委員  
<概要>大学におけるPSE教育のカリキュラムについて委員所属大学についての調査・アンケート結果を紹介する。

14:05-14:35 「国際レベルの教育と大学院 JABEE について」  
静岡大学 須藤雅夫 氏  
<概要>国際的に通用する教育と教育の質的な改革の方向性を議論する。大学院認定基準の設定と達成目標、及び国際的な同等性の可能性を示す。日本での大学院 JABEE 認証の計画についても紹介する。

14:35-15:05 「米国におけるエンジニア教育プログラム」  
東京農工大学 山下善之 氏  
<概要>米国ではこの数年間、化学工学教育のカリキュラムを見直すためのワークショップが、多数の大学と企業によって継続的に開催されている。AIChE 会誌記事や MIT の新カリキュラムなどを参照して、米国における化学工学教育の将来について紹介する。

15:05-15:25 (休憩)

- 15:25-15:55 「エンジニアのためのプロセスシミュレーション教育－化学会社の事例」  
三井化学 村上博文 氏  
<概要>化学会社におけるプロセスエンジニア教育の一例として、プラントの運転・制御に関わる問題解決にシミュレーション技術を活用できるスタッフの育成を目的とした動的シミュレーション技術教育を紹介する。
- 15:55-16:25 「エンジ企業日揮におけるエンジニアリング教育および技術伝承の紹介」  
日揮 喜多富士雄 氏  
<概要>日揮におけるエンジニアとして必要な技術教育および技術伝承の枠組みを紹介する。例として、①「トラブル事例DB」の拡充と伝承と社内周知、②PSE関連の技術伝承の内容、③PSE関連の技術伝承の事例、等を紹介する。
- 16:25-16:45 「企業における教育と技術伝承の概要：アンケートまとめ」  
東洋エンジニアリング 鈴木剛 委員  
<概要>企業におけるエンジニアリング教育、技術伝承について委員所属企業についての調査・アンケート結果を紹介する。
- 16:45-17:30 全体討論  
17:30-18:00 オリエンテーションとホテルチェックイン
- 18:00-19:30 夕食／懇親会
- 19:30-21:00 グループ討論 1
- < 2日目 > 5月12日（土）
- 9:00-10:00 グループ討論 2  
10:00-11:00 討論内容報告  
11:00-12:00 総合討論とまとめ

## 5. 申し込み方法

宿泊の予約を伴う場合には、4月25日（水）までにご回答下さい。また、宿泊予約を伴わない研究会・懇親会のみのご参加についても、4月25日（水）までにご回答下さい。なお、宿泊費・懇親会費として15,000円を当日申し受けます。懇親会費のみの場合は、5,000円申し受けます。また、初日は昼食をすませてご参加下さい。12時30分から受付を致します。